

# 平成29年度全国学力・学習状況調査【調査結果】

## －蓮田市の結果の概要について－

蓮田市教育委員会

本調査によって測定できるのは、学力の特定の一部分・一側面であり、全ての学力を表すものではありません。

このことを踏まえ、蓮田市の結果の概要についてお伝えします。

### 1 実施状況

- (1) 実施期日 平成29年4月18日(火)
- (2) 対象学年 小学校第6学年 中学校第3学年
- (3) 調査内容
- ア 教科に関する調査(国語、算数・数学)
    - 主として「知識」に関する問題(A)
    - 主として「活用」に関する問題(B)
  - イ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

### 2 学力・学習状況調査結果

#### (1) 教科に関する調査

全体的傾向	小学生は、国語で全国平均をやや下回る項目が多かった。算数では、ほぼ全国平均を上回っていた。中学校では、国語も数学もよくできていた。特に、Bの活用問題がよくできる傾向にある。国語では、小学校・中学校共に、文を書く問題に課題がある。算数・数学では、小学校・中学校共に、図形に関する問題にやや課題がある。
-------	---

#### 【蓮田市と全国・埼玉県との比較の概要】

小学校6年

(平均正答率 単位%)

	国語		算数	
	A(知識)	B(活用)	A(知識)	B(活用)
蓮田市	74.0	56.0	78.0	46.0
埼玉県	75.0	57.0	76.0	45.0
全国	74.8	57.5	78.6	45.9

中学校3年

(平均正答率 単位%)

	国語		数学	
	A(知識)	B(活用)	A(知識)	B(活用)
蓮田市	79.0	76.0	68.0	53.0
埼玉県	76.0	72.0	63.0	48.0
全国	77.4	72.2	64.6	48.1

#### 【国語A(主として知識)】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<b>小学校6年生</b> [問題数：15問] <input type="checkbox"/> 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は若干下回っている。	<input type="checkbox"/> ことわざの使い方の例として適切なものを選択する。 <input type="checkbox"/> 漢字を読む。 <input type="checkbox"/> 俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する。	<input checked="" type="checkbox"/> 手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置について、適切なものを選択する。 <input checked="" type="checkbox"/> 漢字を書く。
<b>中学校3年生</b> [問題数：33問] <input type="checkbox"/> 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は上回っている。	<input type="checkbox"/> 話し言葉と書き言葉の違いを理解する。 <input type="checkbox"/> 文脈に即して漢字を正しく読む。 <input type="checkbox"/> 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。	<input checked="" type="checkbox"/> 文脈に即して漢字を正しく書く。 <input checked="" type="checkbox"/> 事象や行為などを表す多様な語句について理解する。 <input checked="" type="checkbox"/> 楷書と行書の違いを理解する。 <input checked="" type="checkbox"/> エンキ(延期)の無回答率が高い。

### 【国語B（主として活用）】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<b>小学校6年生</b> [問題数：10問] <input type="checkbox"/> 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は下回っている。	<input type="checkbox"/> スピーチの練習の様子を記録した動画を見る目的として、適切なものを選択する。	<input checked="" type="checkbox"/> 「きつねの写真」を読んだ後の話合いにおけるア・イの発言の意図として、適切なものをそれぞれ選択する。 <input checked="" type="checkbox"/> 「水やりに協力してくれる人をぼ集めます」の[イ]に入る内容を、中学生からの【アドバイス】を基に書く。
<b>中学校3年生</b> [問題数：9問] <input type="checkbox"/> 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は上回っている。	<input type="checkbox"/> 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。 <input type="checkbox"/> 目的に応じて資料を効果的に活用して話す。	<input checked="" type="checkbox"/> 表現の仕方について捉え、自分の考えを書く。

### 【算数・数学A（主として知識）】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<b>小学校6年生</b> [問題数：16問] □全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は若干下回っている。	○リボンを2m買ったときの代金と3m買ったときの代金を書く。 ○ $60 \times 0.4$ を、 $60 \times 4$ を基にして考えるときの、正しい積の求め方を選ぶ。 ○出席番号1番の人は二次元表のどこに入るかを選ぶ。	● $6 + 0.5 \times 2$ を計算する。 ●重さ、長さについて任意単位による測定を基に比較しているものを選ぶ。 ●二次元表の合計欄に入る数を書く。
<b>中学校3年生</b> [問題数：36問] □全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は上回っている。	○実生活の場面において、ある数量が正の数と負の数の数で表されることを理解している。 ○平行移動した図形を描くことができる。 ○円錐が回転体としてどのように構成されているかを理解している。	●長方形の縦の長さとの面積の関係を「…は…の関数である」という形で表現する。 ●扇形の弧の長さを求めることができる。 ●錯角の意味を理解している。

### 【算数・数学B（主として活用）】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<b>小学校6年生</b> [問題数：13問] □全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は上回っている。	○カードの差が4の場合の、2けたのひき算の式と答えを書く。 ○示された考えを基に、 $54 - 45$ の場合で残る部分を図に表す。	●与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉え、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだわけを書く。 ●仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める。 ●13本の直線を使う場合、手紙の用紙の長い辺を3等分するのは、何本目の直線と交わった点かを書く。

<p><b>中学校3年生</b></p> <p>[問題数：15問]</p> <p>□全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は上回っている。</p>	<p>○問題場面における考察の対象を明確にとらえることができる。</p> <p>○与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる。</p> <p>○資料から必要な情報を適切に読み取ることができる。</p>	<p>●2つの図形の関係性を回転移動に着目してとらえ、数学的な表現を用いて説明することができる。</p> <p>●事象と式の対応を的確にとらえ、事柄が成り立つ理由を説明することができる。</p> <p>●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。</p>
---	---	--

(2) 児童・生徒質問紙調査 (全国平均と比較して ○良好 △課題)

<p><b>小学校6年生</b></p> <p><b>全体的傾向</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県や国の平均値と、おおむね同様の傾向である。</li> <li>・基本的な生活習慣の定着ができています。ルールや約束を守るなどの規範意識が高い。</li> <li>・「自分にはよいところがある」と思っていない児童の割合が県や国の平均に比べ高い。自己肯定感が低い児童の割合が多い傾向にある。</li> <li>・国語の学習が好きではない児童が多い。</li> <li>・地域や社会のことに興味をもって何をすべきか考えたり、ボランティア活動に参加したりすることについては、二極化の傾向がある。</li> </ul>
<p><b>具体的傾向</b></p> <p>(質問紙の抜粋)</p> <p>全国平均と比較して</p> <p>○良好</p> <p>△課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝食を毎日食べる。</li> <li>○毎日、同じくらいの時刻に起きたり、寝たりする。</li> <li>○友達の話最後まで聞くことができる。</li> <li>○友達のを考えを受け止めて自分の考えをもつことができる。</li> <li>○テレビゲーム・携帯電話やスマートフォンで通話やメールをする時間は、短い。携帯電話・スマートフォンを持っていない児童が多い。</li> <li>○夢や目標を持っている。</li> <li>○授業で学んだことを他に生かそうとしている。</li> <li>○家族と話をする。</li> <li>○地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。</li> <li>○学校のきまりを守っている。</li> <li>○人が困っているときは進んで助けている。</li> <li>○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。</li> <li>○人の役に立つ人間になりたいと思っている。</li> </ul>

	<p>△将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思う。</p> <p>△新聞を読む。</p>
<p>中学校3年生</p> <p>全体的傾向</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校と同じく、県や国の平均値と、極端に相違するところはない。</li> <li>・基本的な生活習慣の定着ができている。ルールや約束を守るなどの規範意識が高い。</li> <li>・部活動に熱心に取り組んでいる生徒が多く、部活動がない時の過ごし方は、テレビ・ゲーム・DVD・インターネットなどである。</li> <li>・文章を書くことに対し、苦手意識がある。</li> <li>・読書は好きだが、休み時間や休日に学校図書館や地域の図書館に行かない生徒が多い。(半数以上)</li> <li>・インターネットやスマホの利用の仕方は家族で決めているが、テレビやゲームについてのルールは決めていない。</li> <li>・自ら進んで行動しようとする項目が、いずれも低くなっている。消極的な傾向がある。</li> </ul>
<p>具体的傾向</p> <p>全国平均と比較して</p> <p>○良好</p> <p>△課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝食を毎日食べている。</li> <li>○ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある。</li> <li>○友達の話最後まで聞ける。</li> <li>○将来の夢を持っている。</li> <li>△テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている。</li> <li>○学校に行くのは楽しい。</li> <li>○学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。</li> <li>△将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思う。</li> <li>△地域の大人(学校や塾・習い事の先生は除きます。)に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがある。</li> <li>△地域や社会をよくするために何をすべきかを考える。</li> <li>△新聞を読む。</li> <li>○学校のきまりを守っている。</li> <li>○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。</li> <li>○人の役に立つ人間になりたいと思っている。</li> </ul>

### 3 今後の予定

<p>市教育委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市全体の児童生徒の実態を国や県の実施した様々な調査のデータから分析し、種々の相関関係から導かれる教育の方向性を定める。</li> <li>○年次研修に加え、臨時的任用教員研修・授業研究会や、2～4年経験者を対象とした若手教員研修、また、職員育成講座を実施し、授業力の向上を図る。</li> <li>○特に課題の見られた点に対しては、指導主事の派遣を通して、重点的に授業改善の取組を支援していく。</li> <li>○国語の学力向上に向けて市としての取組を推進する。</li> <li>○算数・数学学力向上検討委員会は、今後も継続して、学力向上について取り組んでいく。</li> </ul>
<p>各小・中学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校長のリーダーシップのもと、自校の調査結果を分析・考察し、学校の教育活動や学習指導の改善に役立てる資料として活用していく。</li> <li>○授業中における学習規律を徹底するとともに、教科会や学年会を中心に学習指導法の工夫・改善を行い、子供たちに達成感を味わわせることができるような「ねらいがわかる授業」「思考力を育成する授業」を展開する。</li> <li>○学級指導や学級活動と連携させて、学力向上の推進を図る。</li> <li>○指導者を招いた授業研究会を積極的に行い、教師一人ひとりの指導技術の向上を図る。</li> <li>○個々の学力の伸びや、課題を重点的に分析し、個々に応じた学習指導の充実を図る。</li> </ul>
<p>家庭・地域社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭での過ごし方は、学力向上に大きな影響があることを理解し、わが子の生活習慣について改めて考えるとともに、その改善方法について、家庭でよく話し合う。</li> <li>○特に、携帯電話やスマートフォンの使い方、テレビやテレビゲームの時間等については、家庭のルールをつくるなどして、時間の過ごし方について家庭でよく話し合う</li> <li>○わが子の学習面でのつまづきを把握するとともに、学校からのアドバイスをもとに、解決方法を家庭でよく話し合い、質・量共に充実した家庭学習に取り組んでいく。</li> </ul>